

オーソン・ウェルズ | N ストレンジャー (1946)

THE STRANGER

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 95分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

S・P・イーグルの名で売り出していた製作者サム・スピーゲルが恐らく、脚本（J・ヒューストンにウェルズ自身も参加していた）の段階からかなりの介入をしていたであろうことは疑いない、ウェルズの戦後第一作。彼の作品には珍しい、ストレートな語り口の反ナチ映画で、「ナチス追跡」のTV放映題でも知られる。ナチ残党狩りに執念を燃やす戦犯聴聞会委員長ウィルソン（ロビンソン）は、故意に収容所所長だった“青い目の小男”マイネックを釈放し泳がす。目的は収容所の考案者で米国に潜入している高官フランツ・キンドラの逮捕だ。偽造パスポート屋にその所在を訪ねた小男は、コネチカットの田舎町ハーパーを訪れる。後を追うウィルソンに気付いた小男は彼を高校の体育館に誘い込み鉄輪で殴打した。しかし、彼は死なず、町の情報の集まるドラッグ・ストアの店主と親しくなり、あれこれ聞き出す。そこに荷物を預けた小男は幾日たっても現われない。ナチ再興など望まず、その小さな町で生きていこうというキンドラには彼が邪魔で、再会してもすぐに殺されたのだ。彼はチャールズ・ランキンと名を変え、高校の歴史教授をしており、判事の娘メアリ（ヤング）との結婚が間近だった。ウィルソンは、教会の古時計の修理に当たっているというこの知識人に否応なしに注目する。キンドラもまた大変な時計狂だったからだ。そして、埋めた小男をあばこうとした判事の飼い犬が何者かに薬殺される。式の日のお出来事だった。ウィルソンはメアリの弟ノアに協力を乞い、ランキンを徐々に追い詰めていく……。学生らのペーパー・チェイスの場面などそこかしこにウェルズ的烙印は押されているが、そのタッチ全開となるのは秘密を知った妻殺害をランキンが工作し始めてからで、梯子への仕掛け、時計台での山場など、めくるめく彼特有の視覚表現に圧倒される。が、彼としては製作者に遣り込められたような、大人しい作品ではある。

【クレジット】

監督	オーソン・ウェルズ	Orson Welles
製作	S・P・イーグル	S.P. Eagle
原作	ヴィクター・トリヴァス デクラ・ダニング	Victor Trivas Decla Dunning
脚本	オーソン・ウェルズ アンソニー・ヴェイラー ジョン・ヒューストン	Orson Welles Anthony Veiller John Huston
撮影	ラッセル・メティ	Russell Metty
音楽	ブロニスラウ・ケイパー	Bronislau Kaper
出演	エドワード・G・ロビンソン オーソン・ウェルズ ロレッタ・ヤング フィリップ・メリヴェイル リチャード・ロング バイロン・キース	Edward G. Robinson Orson Welles Loretta Young Philip Merivale Richard Long Byron Keith

